

SVP東京20周年 アンケート速報

20230827

協働先アンケート

調査目的 : 過去協働団体の協働当時と現在の実態や意識を把握し、協働先団体およびSVP東京の変化を確認する。
また、協働先にとってのSVP東京の価値を確認し、今後の活動に資する。

調査方法 : インターネットアンケート

設問数 : 24問

回答対象 : SVP東京の過去協働団体
(2005年～2020年採択団体)

サンプル数 : 50s (2023/8/17時点)

実施時期 : 2023年7月～8月

実施機関 : NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京

パートナーアンケート

調査目的 : パートナー経験者のSVP東京での活動や協働の実態・意識を把握し、パートナーにとってのSVP東京の価値と変化を把握し、今後の活動に資する。

調査方法 : インターネットアンケート

設問数 : 31問

回答対象 : SVP東京のパートナー経験者
(2003年～2023年)

サンプル数 : 118s (2023/8/17時点)

実施時期 : 2023年7月～8月

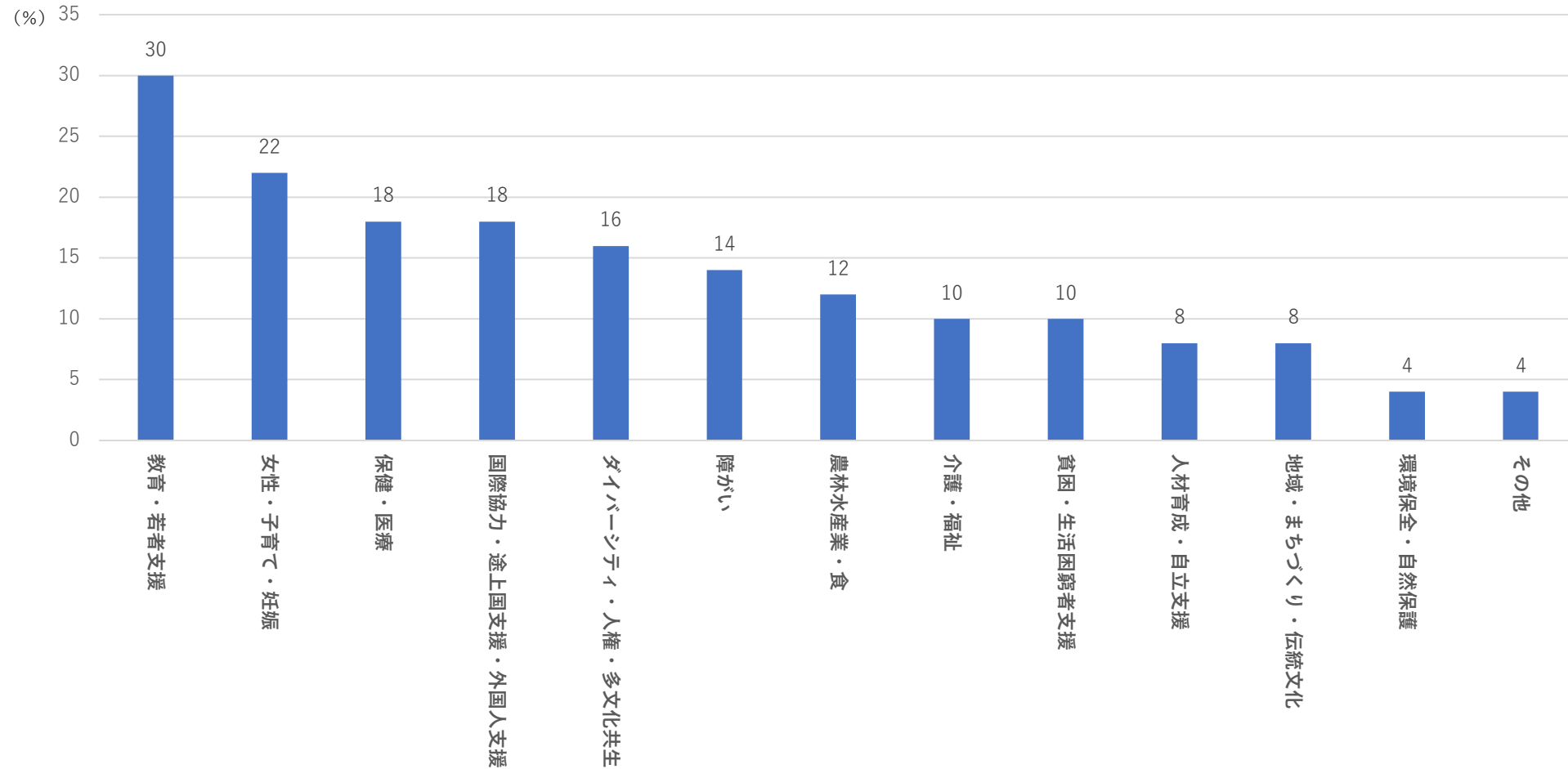
実施機関 : NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京

協働先アンケート

SVP東京の協働先団体の社会課題は「教育・若者支援」が30%最も高く、次いで「女性・子育て・妊娠」が22%続く。協働先は多様な社会課題に分布していることが分かる。

Q貴団体の取り組む社会課題領域に一番近いと思われる選択肢を最大2つまでお選びください。（複数回答）

(n=50)



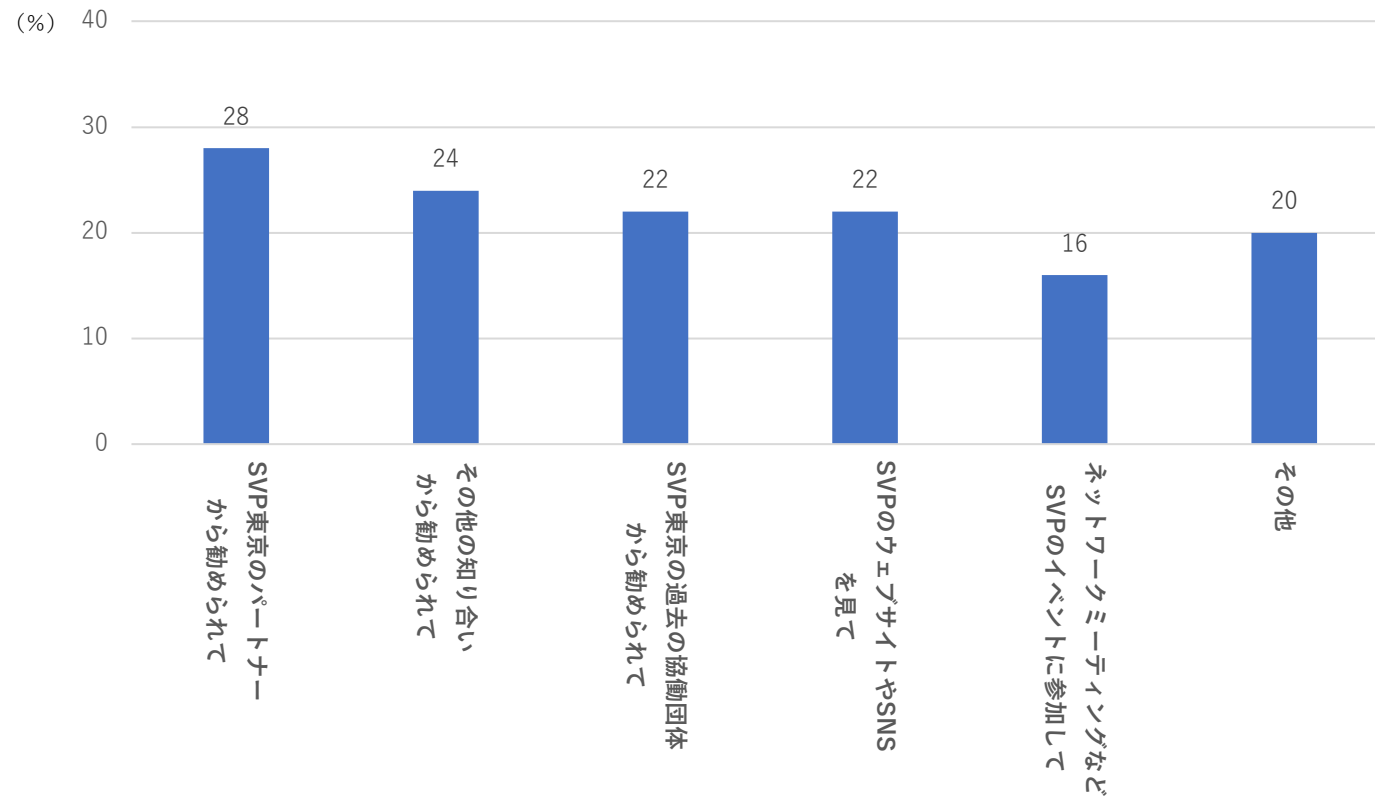
協働先アンケート



協働先団体がSVP東京に応募したきっかけは、「SVP東京のパートナーから勧められて」をはじめ、人から勧められたこと（口コミ）がきっかけの中心。

Q SVP東京に応募したきっかけは何でしたか？以下のうち、あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）

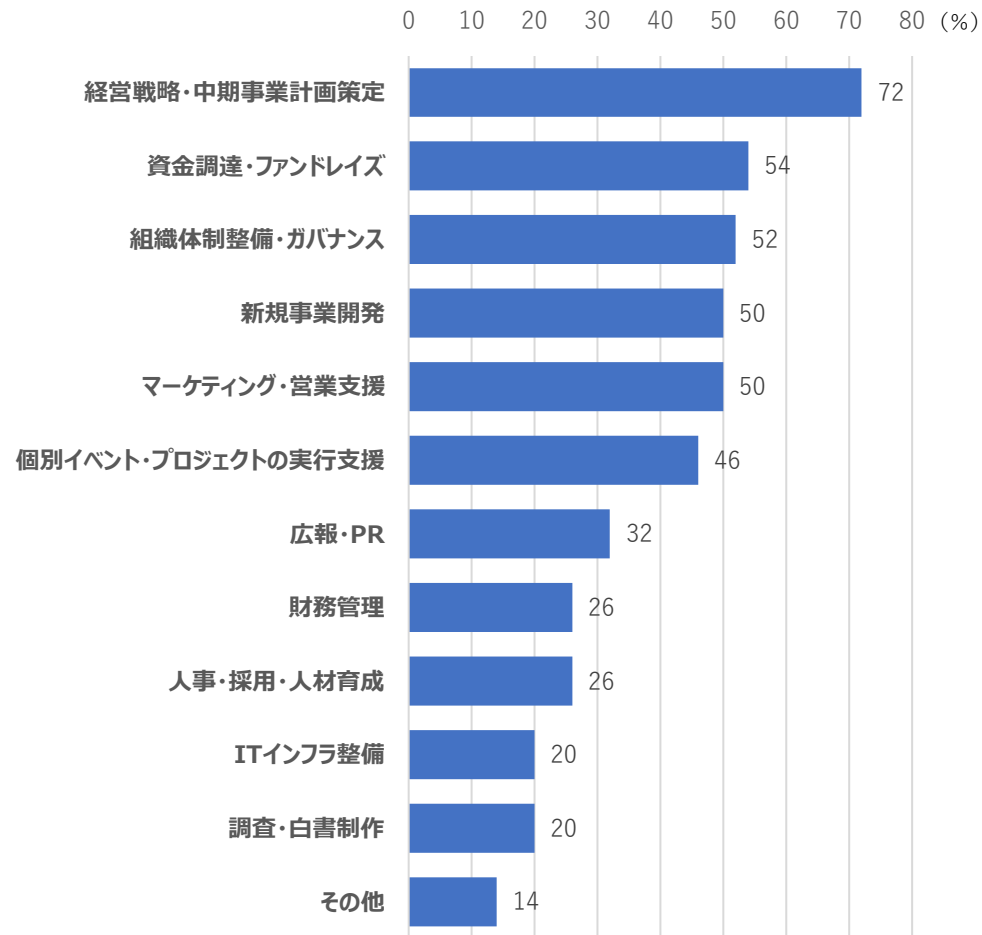
(n=50)



協働先アンケート

SVPとの協働内容は、「経営戦略・中期事業計画策定」が72%で特に高い。一方、SVPで成果や価値があったこととしては「人」の成長やサポートが上位。

Q SVPとはどのような協働をされましたか？あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）



Q SVP東京との協働において成果があったことや、価値があったと思うことを、全てお選びください。（複数回答） (n=50)

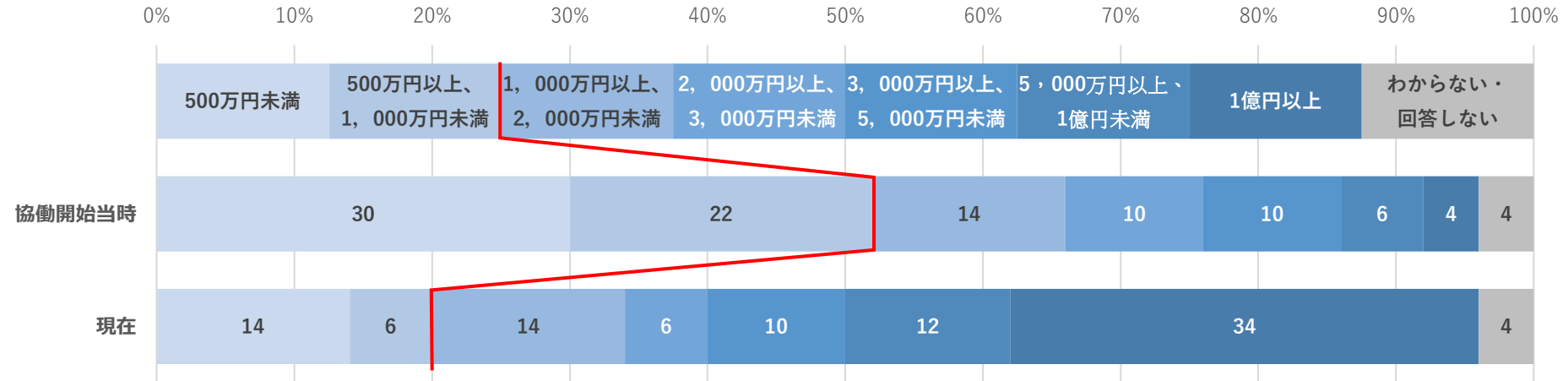
成果/価値	割合 (%)
代表者本人の精神的な支えになった	68
人脈やネットワークが形成された	64
代表者以外の経営陣やスタッフの成長に寄与した	60
経営戦略・計画の策定ができた	56
ミッション・ビジョンの明確化ができた	52
新規事業の開発ができた/進んだ	52
代表者本人の成長に寄与した	50
代表者以外の経営陣やスタッフの精神的な支えになった	50
財務基盤が強化された	32
既存事業が成長した	30
広報・PRの効果が上がった	28
意思決定プロセスやガバナンスの整備・明確化が進んだ	26
調査・リサーチができた	22
人事・採用・人材育成の質や効率が上がった	20
財務管理などの整備ができた	18
ITインフラの整備ができた	16
その他	6
特になし	-

協働先アンケート

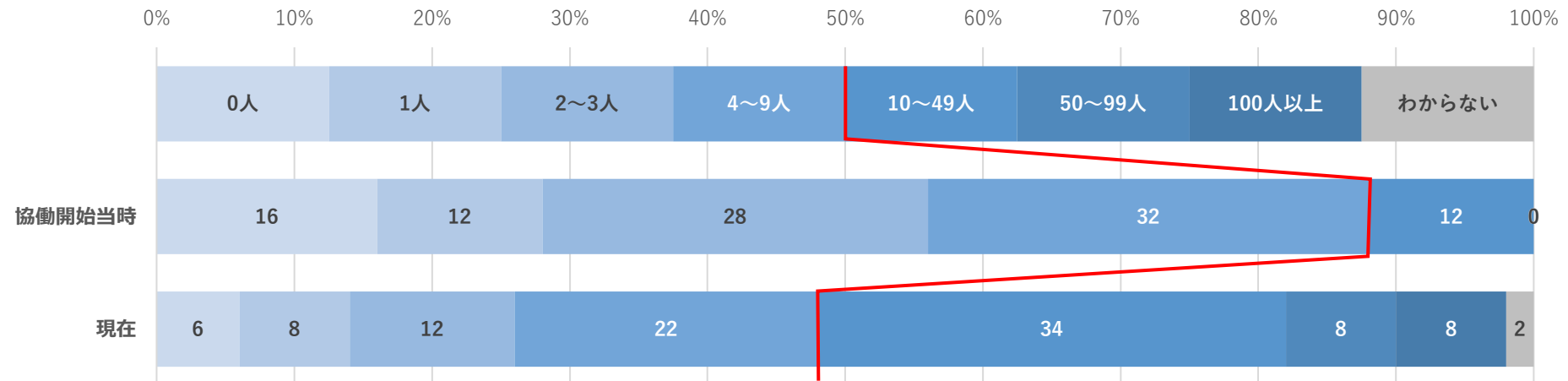
協働が開始した当時と比べて、協働先団体は事業規模もスタッフ数も大幅に増えている。
 事業規模は協働開始当時5割を超えていた1,000万円以下が2割に下がり、1億円以上が4%から34%に増えている。

Q SVP東京との協働が開始した年度、および今年度（2023年度）の事業規模を教えてください。（単数回答）

(n=50)



Q SVP東京との協働が開始した当時と現在の、有給スタッフの数をそれぞれ教えてください。（単数回答）



パートナーアンケート

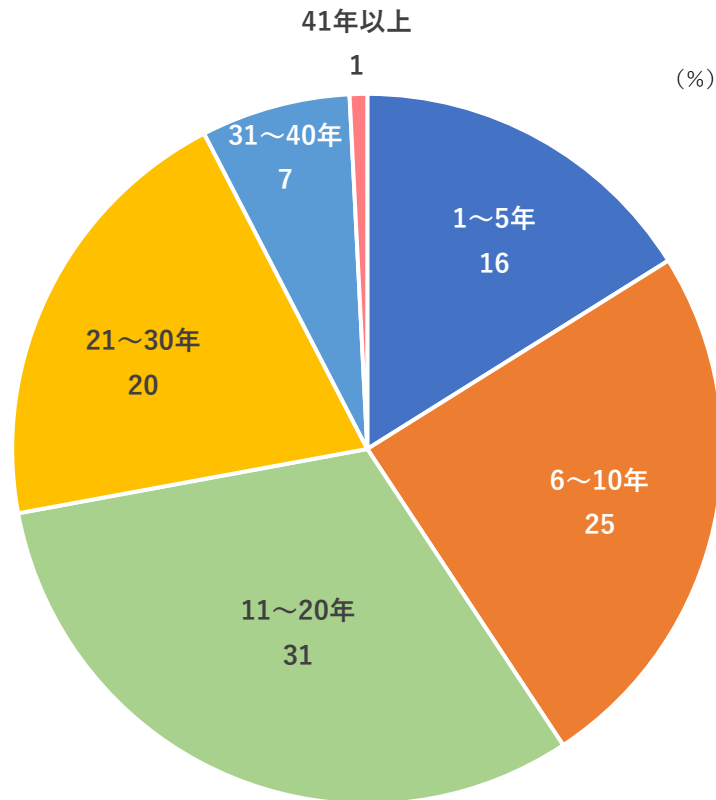


SVP加入当時のパートナーの社会人歴は「11～20年」が31%で最も多く、働き盛りの社会人が多い傾向。
現在の職業は、「経営者/役員（ビジネスセクター）」が20%で最も高く、次いで「事業開発/経営企画」、「コンサルタント（ビジネス）」が1割を超える。

(n=118)

Q SVP東京に加入した時点での、あなたの社会人歴をお選びください。（単数回答）

Q あなたの現在の職種に最も近いものを一つ教えてください。（単数回答）



職種 上位10位まで

順位	職種	割合 (%)
1	経営者/役員（ビジネスセクター）	20.3
2	事業開発/経営企画	16.1
3	コンサルタント（ビジネス）	11.9
4	バックオフィス（人事/経理/総務/法務）	5.1
5	ITエンジニア	5.1
6	経営者/役員（NPO/その他ソーシャル）	4.2
7	コンサルタント（その他）	4.2
8	ファシリテーター/コーチング等	3.4
9	専門職（金融）	3.4
10	営業/CS	2.5

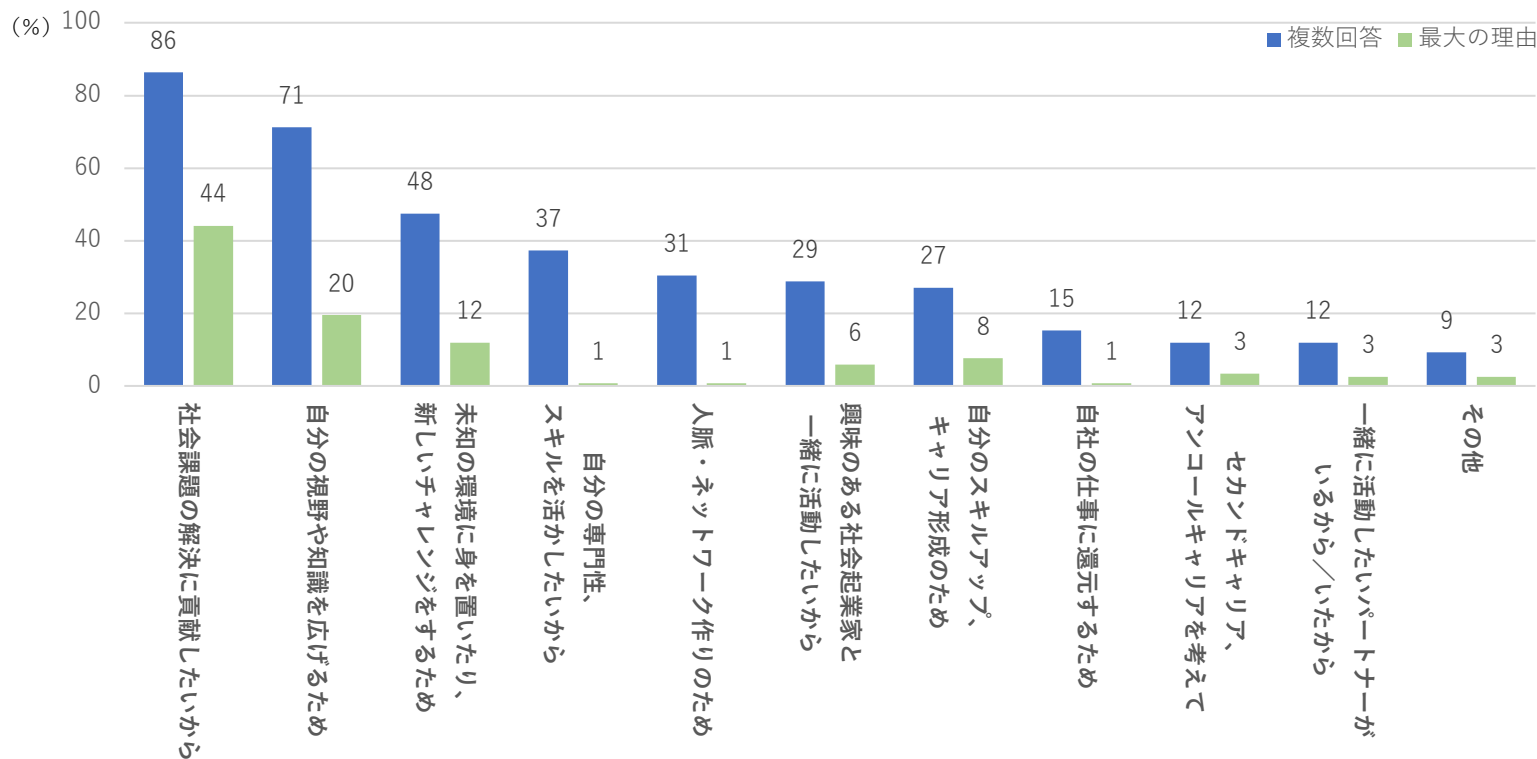
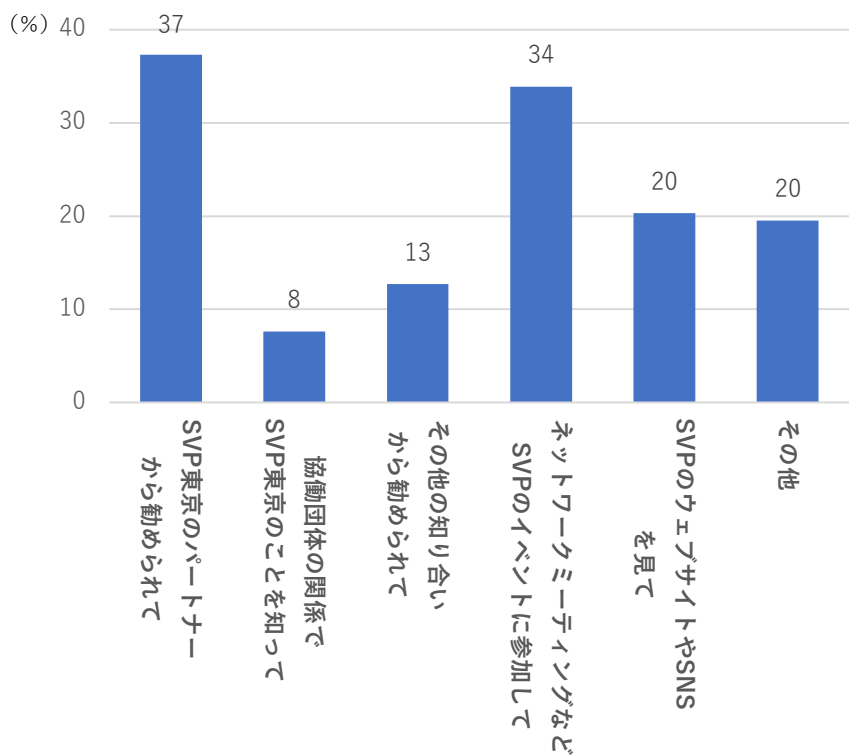
パートナーアンケート



パートナーのSVP東京に加入したきっかけは「SVP東京のパートナーから勧められて」と「SVPのイベントに参加して」がそれぞれ3割で高い。加入した理由は、「社会課題の解決に貢献したいから」（86%）、「自分の視野や知識を広げるため」（71%）、「未知の環境に身を置いたり、新しいチャレンジをするため」（48%）が上位。

Q SVP東京に加入したきっかけは何でしたか？以下のうち、あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）

Q SVP東京に加入することに決めた理由を全てお選びください。（複数回答）（n=118）



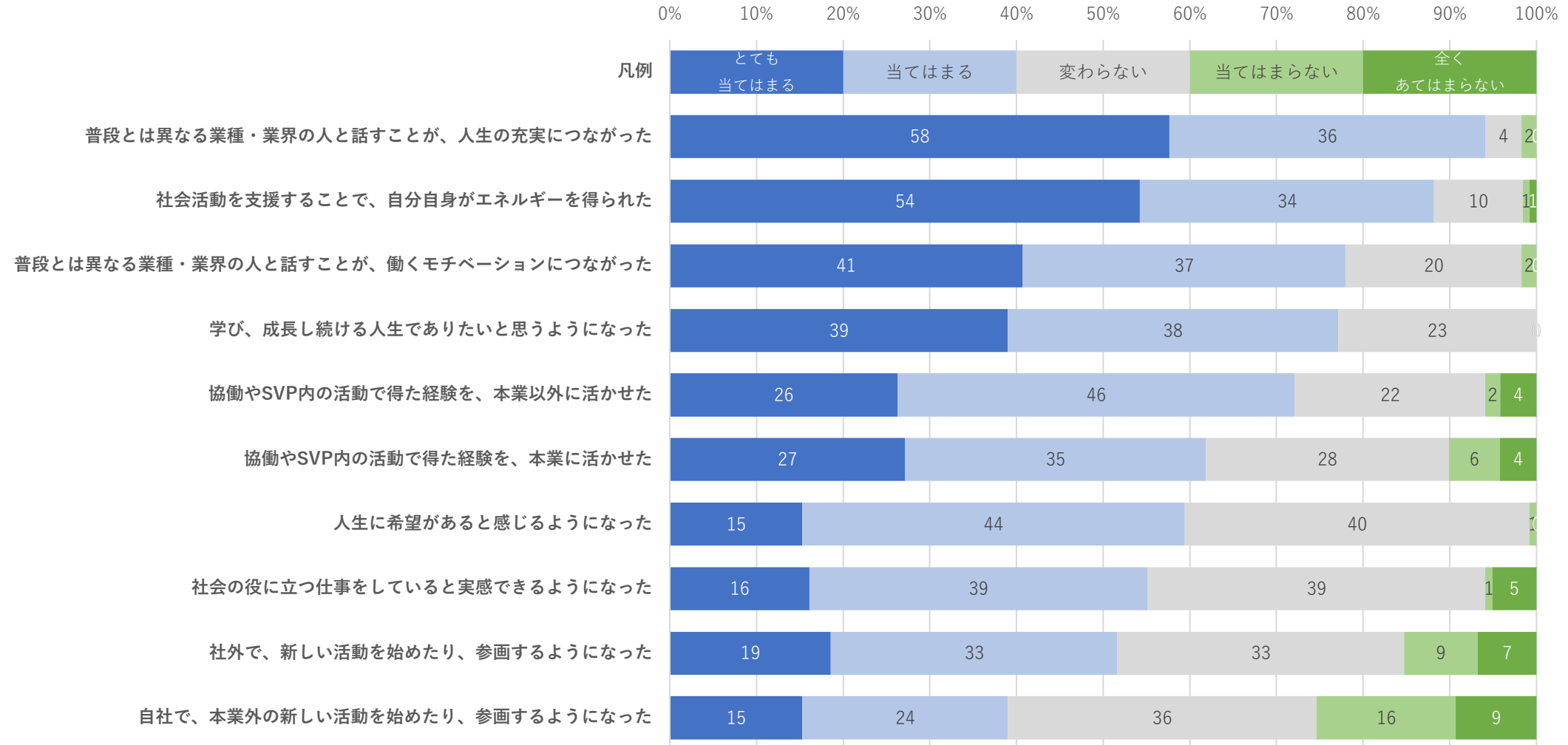
パートナーアンケート



SVP東京での活動の影響としては、「普段とは異なる業種・業界の人と話すことが、人生の充実につながった」、「社会活動を支援することで、自分自身がエネルギーを得られた」など、QOLの向上につながる内容が上位。

Q SVP東京での活動は、あなた自身の生活や仕事へ、どのような影響をもたらしましたか？（単数回答）

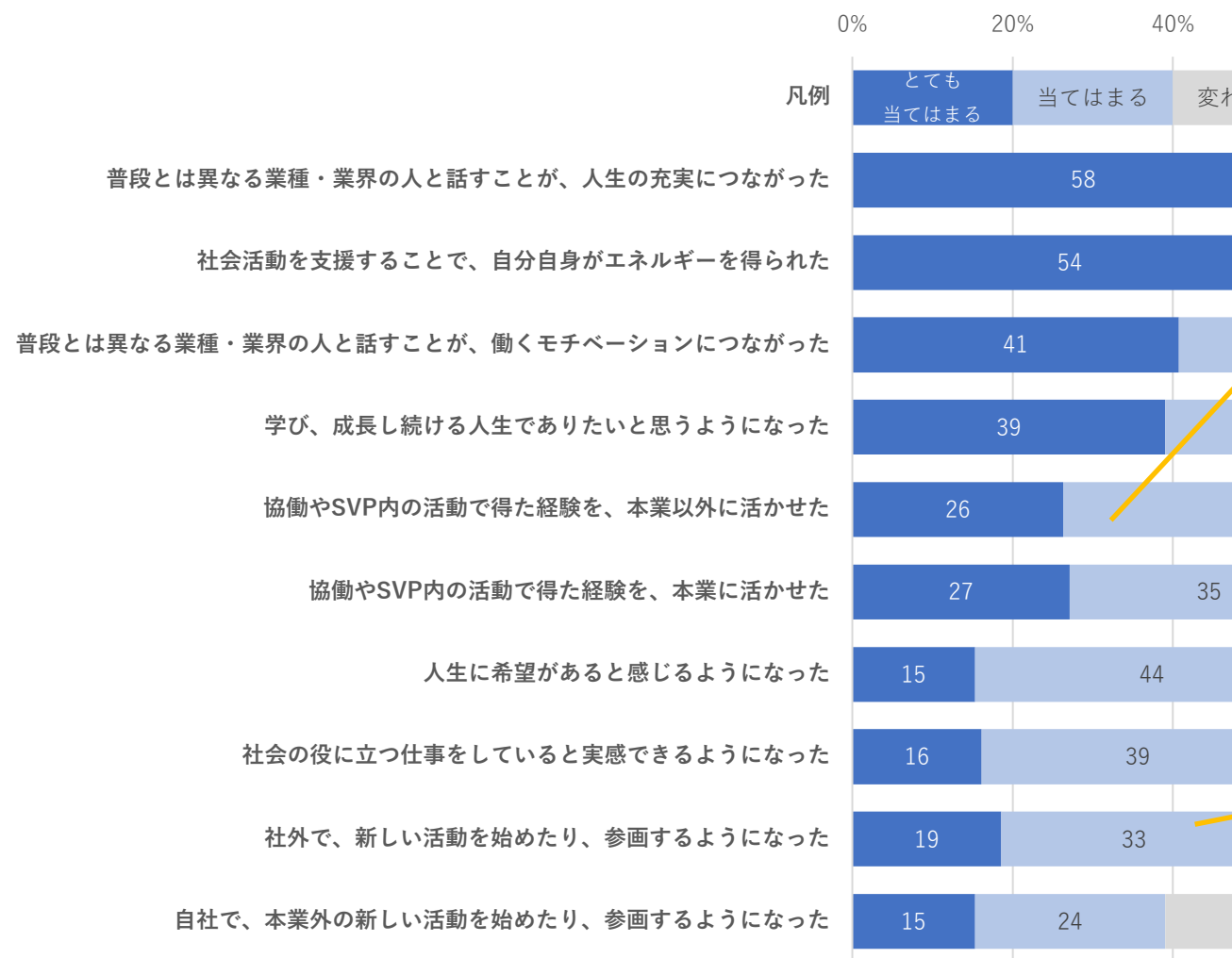
(n=118)



パートナーアンケート

協働やSVP内の活動で得た経験を活かしたという人の内容としては、「SVPで得た知識や経験で（本業の）業務の質が向上した」「社会課題にかかわる知識を本業以外の活動に活かした」などが高い。また、社外では「社会課題に関連するセミナーやイベントに参加するようになった」などの影響があった。

Q SVP東京での活動は、あなた自身の生活や仕事へ、どのような影響をもたらしましたか？



「協働やSVP内の活動で得た経験を、本業以外で活かした」内容 (n=85)

社会課題に関わる知識を本業以外の活動に活かした	SVPで得たネットワークを本業以外の活動に活かした	SVPで得た知識や経験により本業以外でのマネジメントスキルが向上した	ソーシャル業界への転職につながった	ソーシャル業界以外での転職につながった	その他
67	45	32	8	5	11

「協働やSVP内の活動で得た経験を、本業で活かした」内容 (n=73)

SVPで得た知識や経験で業務の質が向上した	社会課題に関わる知識を業務に直接活かした	SVPで得た知識や経験によりマネジメントスキルが向上した	SVPで得たネットワークを業務に直接活かした	社内の同僚などとのコミュニケーションが向上した	新規事業の開発などにつながった	その他
59	51	48	36	30	21	7

「社外で、新しい活動を始めたり、参画するようになった」内容 (n=61)

社会課題に関連するセミナーやイベントに参加するようになった	(SVP以外の)プロボノやボランティア活動に参加した	寄付への意識や行動が変わった	地元の自治会、PTA、学校のOB会など、自身に関わるコミュニティへの参加が増えた	自身で新しい団体・グループなどを立ち上げた	社会課題に関わることを副業で始めた	その他
61	56	54	26	26	15	10

パートナーアンケート



SVP東京での活動による成長や変容として、加入時の理由としては2位だった「多様な・幅広い視点の獲得」が最も高く、次いで加入時の理由では5位だった「人脈の獲得」、1位だった「社会課題解決への貢献」が続く。

Q SVP東京での活動によって、あなた自身にどのような成長や変容がありましたか？（単数回答）

(n=118)

